

2023.03.30.木曜礼拝

「神はあなたを植えられる場所で咲かせられる エゼキエル書 1 章」

JD ファラグ牧師

共に祈りませんか？ 主よ、私たちが集まり、あなたを祝い、あなたを礼拝し、あなたを賛美し、あなたにすべての栄光を捧げることができるこの時間を感謝し、私たちを養い、あなたの御言葉によって養われるために、今晚ここにいて許されていることに感謝します。主よ、私たちに教えてください。私たちに語ってください。もう一度、主よ、本当に感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

皆さんこんばんは。どうぞお座りください。ようこそ。今夜は皆さんお元気ですか？ もう答えが出ているようですね。オンラインで参加の皆さんも歓迎したいと思います。参加下さり嬉しいです。

今夜から、この素晴らしいエゼキエル書を通しての聖書の学びを始めます。言ってもいいですか？ 言いますよ。ええ、そうです。私はかわいそうな皆さんに、なんてことをしたのでしょうか。ええ、つまり、これは聖書のすべての書と並んで、私の大好きな書です。でも、この書とこの章は本当に楽しみです。毎週言っていますが、これからも毎週言い続けるでしょう。それが、あなたの人生の宿命です。祈りませんか？ 今夜、御言葉の中で神が私たちの時間を祝福してくださるよう祈りましょう。

お父さま、本当に感謝します。おお、主よ、私たちはあなたを愛しています。私たちはあなたの御言葉を愛しています。ああ、主よ、今夜はただ、大きな熱望と願いと楽しみと、期待も込めて、この素晴らしい書を始めにあたって、あなたが私たちに何を用意されているのか楽しみにしています。素晴らしい書であり、エゼキエルは素晴らしい人です。今夜から、彼のことを知っていきます。主よ、彼は私たちに多くの事を教えてくれます。私たちの心にそれを祝福してくださる聖霊が必要です。主よ、私たちは受けとる心を持ちたいです。聞く耳、見る目を持ちたいです。そして主よ、何よりも私たちは、木曜日の夜に共に過ごす時間をとても大切にしています。あなたと共に過ごす時間、互いに過ごす時間です。私たちはそれを宝物とし、それを重視しています。私たちは本当に感謝しています。ですから主よ、今夜の私たちの時間の中で、あなたの御言葉、特にこの御言葉の中のこの章を理解できるように祝福してください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。それでは。最も魅力的なエゼキエル書を始めましょう。バビロンに捕らわれたエゼキエルが、神に選ばれ、用いられるところから始まります。この章のページから飛び出すのは、神は私たちが植えられる場所で花を咲かせることがお出来になり、また咲かせてくださるということです。この章のページから飛び出すのは、神は私たちが植えられる場所で花を咲かせることがお出来になり、また咲かせてくださるということです。これが理由です。エゼキエルが捕らえられた時、まだ 25 歳くらいだったと信じられています。そして、これから分かるように、彼が約 30 歳のときに、神は神の栄光のこの幻をお与えになります。さて、なぜこれが重要なのでしょうか？ なぜなら、エゼキエルは自分の人生のために、この計画を立てることは決してできなかったからです。彼は若者です。彼には確かに計画や願望があり、実際に神殿での祭司として仕えるために訓練を受けていました。しかし、神には別の計画があらわれました。では、1 節。

一エゼキエル 1:1一

第三十年の第四の月の五日(具体性に注目下さい)、私がケバル川のほとりで捕囚の民とともにいたとき、天が開け、私は神々しい幻を見た。

一エゼキエル 1:2一

それはエホヤキン王が捕囚となつてから五年目の時であつた。その月の五日に、

—エゼキエル 1:3—

カルデア人の地のケバル川のほとりで、ブジの子、祭司エゼキエルに主のことばが確かに臨んだ。その場所で主の御手が彼の上にあつた。

それでは、私たちが自分に正直になるなら、私たちは、このような節を読み流してしまつたり、さつと読み進めてしまう傾向があることを認めざるを得ません。結局のところ、何だか関係ないような気がしてしまうからです。しかし、そうすることは、大きな間違いを犯すことになります。なぜなら、私たちの理解にとって重要な、さらには適用可能な情報が得られるからです。もしよろしければ、この素晴らしい預言書の冒頭に、なぜこのような詳細が書かれているのか、その理由をお話したいと思います。

まず、いわば、これらの預言的時間軸は、この時点でのエゼキエルの年齢を示すものであり、これがまた重要なのですが、というのも、彼は 30 歳で神殿での祭司の仕事をはじめたはずだからです。実際には 20 歳から訓練を始めていたはずですが、一緒に考えてみてください。10 年間です。20 歳になった彼は今、神殿で仕えるために訓練を受けています。これは言いようのない名誉であり、深い特権です。エゼキエルのような若者は、これをとても楽しみにしていて、わくわくしていました。しかし、約 25 歳で、バビロンに捕らえられてしまいました。なぜでしょうか？ なぜなら、これらの時間軸は、バビロン人が優秀な人たちをどのように捕虜にしたかの詳細も示しているからです。さて、理解していただきたいのは、3 度の包囲があつたということです。最初の 2 回の包囲で、その時にエゼキエルが連れ去られ、一緒にエゼキエルを知るダニエルも連れて行かれたと信じられています。実は、エゼキエルは、この最初の 3 節に詳しく書いてあるのですが、ダニエルがいるバビロンから南東に 50 マイルほど離れたところにおいて、彼はこの書の中で 3 回、ダニエルに言及しています。つまり、エゼキエルもダニエルもエレミヤをよく知っていたこととなります。この時は二人とも若者ですが、二人とも 70 年間バビロンに在ることとなります。彼らは成長の過程で、預言者エレミヤの話を聞いていたのです。彼らはエレミヤの預言をよく知り、聞き、心に留めていたことでしょう。そして今、彼らはバビロンに捕らわれ、預言者エレミヤが預言したことがすべて実現しました。実は、これが神の主権によってエゼキエルとダニエルがエルサレムから追放され、バビロンに植えられた主な理由の一つです。説明します。

バビロンの捕虜たちは、まだ偽預言者たちを信じていて、すぐにエルサレムに戻れると信じていました。

「エレミヤの言葉を聞いてはならない」と。ええ、でも、ちょっと、エレミヤが言ったとおりになりました。私たちが今いる場所はどこなのか、気づいていますか？ バビロンにいます。エレミヤは、私たちがバビロンに捕らわれることを預言しました。「ああ、いやいや、」しかし、エレミヤはそれが 70 年続くと言いました。

「いや、私たちは戻れるよ。心配しないで。心配しないで。前に進んでください。あまり落ち着きすぎないように。あまり心地よくならないように。」

ところで、この書を通した学びの中で、そのことが見えてきます。バビロンについて興味深いのは、補足的に、少し余談ですが、バビロンが民を捕虜にしたとき、残虐なことはしませんでした。誘惑したのです。どういう意味でしょう？ まあ、バビロンは非常に印象的でした。彼らはただ…バビロンが民を捕虜にするときにバビロンを見て、これらの民がバビロンに同化し、バビロンに馴染んで落ち着くことを望んでいたのです。そのため、70 年が経過する頃には、ユダヤ人はそこで快適に過ごしており、実際にエルサレムに戻る人はあまりいませんでした。これは別の機会の話題ですが、ただ、エゼキエルとダニエルが

何に直面しているのかを理解してほしいので、これを付け加えておきました。だからこそ、これが神がエゼキエルをそこに送り込まれる大きな理由のひとつとなります。なぜなら、この偽預言者たちはまだそれを続けていたからです。何を続けているのか？ 民を欺き、民を惑わすことです。民にこう言います。

「やあ、大丈夫です。神殿は残っています。」この時点ではそうでした。

「エルサレムはまだ残っていて、だから、私たちがここにいるのはわかっているけど、私たちは帰るんだ。」神のために神殿で仕えていたであろう、この期待の若者の登場です。しかし、その代わりに、まず神のご栄光の幻を与えられ、その後、神によって用いられます。かなり詩的な表現でしたよね。一日中、考えていたんです。皆さんが...私に感心しないでください。神に祝福されてください。なぜなら、このことだけでも大切な教訓があるからです。エゼキエルには、この幻が必要です。なぜなら、バビロンの栄光とバビロンの神々のゆえに、彼の預言者としての働きを通して、このことが彼の心にしっかりと刻み込まなければならないからです。彼はこのようなことに直面するので、神がどんなお方であるか、神のご栄光に関して、確実に、不動で、揺るぎない者である必要があります。だから、神が彼を通してこの働きをなさる前に、神が彼の中でこの働きをなさる必要があります。これが教訓です。神が私たちを用いて働きをされる前に、まず私たちの中でその働きをされる必要があります。だからエゼキエルはこれを手にし、これを所有し、これを必要とするのです。彼は、神のご栄光を心と思いに留めておかなければなりません。興味深いのは、ダニエルは主の御国を強調していることです。イザヤは主の救い、エレミヤは主の裁きを強調しています。しかし、エゼキエルは、主のご栄光を強調しています。

—エゼキエル 1:4—

私が見ていると、見よ、激しい風が北からやって来た。それは大きな雲と、きらめき渡る火を伴い、その周りには輝きがあった。その火の中央からは琥珀のようなきらめきが出ていた。

5節。これは幻です。今、天が開かれて、神はエゼキエルにその栄光、威厳を明らかにされます。そして、無限の神が有限の者に対して、このようなことをしなければならないことを心に留めておくと思いいます。つまり、エゼキエルが見たこの神のご栄光の幻は、5節のこの言葉、「～のような」がよく出てきます。神のご栄光の幻の描写です。だから、私たちはそれを踏まえて最善を尽くしましょう。少し変になるかもしれませんが、これに関して最善を尽くします。良いですね？ よし、ただ確認したかったので。5節。

—エゼキエル 1:5—

その中に生きものの”ような”ものが四つ現れ、その姿は次のようであった。

彼らは人間の”ような”姿をしていたが、彼らは人間ではありません。人間のような姿をしていました。

—エゼキエル 1:6—

それぞれ四つの顔と...

つまり、そういうことで…困惑しないでくださいね。「creatures／生き物」という言葉だけでも。「creations／創造物」であったら良いのに。なぜなら、「生き物」というと、何が思い浮かびますか？ 気にしないでくださいつまり、これらは生き物です。

—エゼキエル 1:6—

それぞれ四つの顔と四つの翼を持っていた。

ところで、取り急ぎ言っておきます、この4節から始まるのは、神のご栄光に関する最も詳細な記述です。では、ヨハネの黙示録はどうでしょう？ ヨハネについてお話ししますが、しかし、このエゼキエル

の幻に描かれた神のご栄光の詳細は、聖書のどこを探しても見つからないようなものです。

ーエゼキエル 1:7ー

その足はまっすぐで、…

笑ってしまつてすみません。つまり、膝がなかったということです。あまり考えすぎないように。考えすぎると、見失ってしまいますから。

…足の裏は子牛の足の裏のようであり、磨かれた青銅のようにきらめいていた。

ーエゼキエル 1:8ー

その翼の下から人間の手が四方に出ていた。また、その四つの生きものの顔と翼は次のようであった。

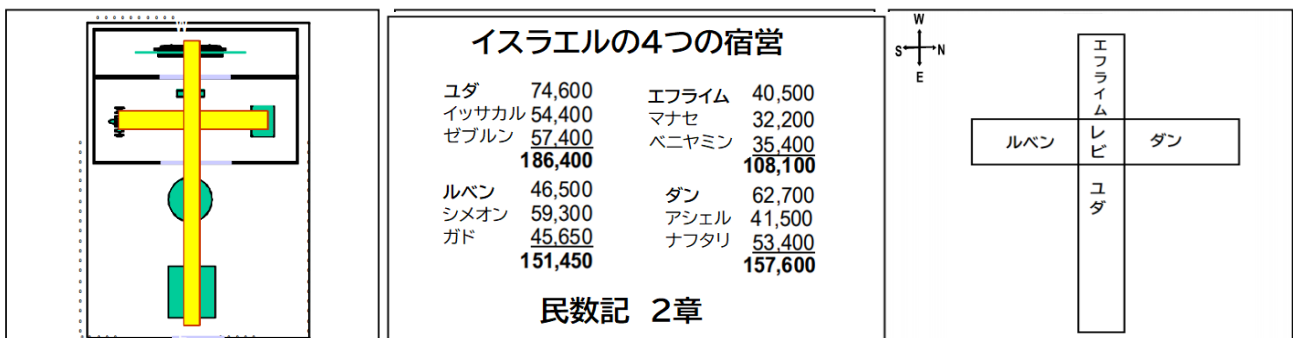
ーエゼキエル 1:9ー

彼らの翼は互いに触れ合っていて、進むときには向きを変えず、それぞれ正面に向かってまっすぐに進んだ。

ーエゼキエル 1:10ー

彼らの顔かたちは人間の顔で、四つとも右側には獅子の顔、四つとも左側には牛の顔、さらに四つとも鷲の顔を持っていた。

何て?? ここまでどうですか? どう言えばいいのでしょうか。言っちゃいましょう。これは超絶恰好良いです。これは非常に... 私は、英単語をしっかりと理解していますが、私が思いつく 2 つの言葉です。これは本当にかっこいいです。非常に素晴らしいです。エゼキエルがここで示されたものは、ヨハネが黙示録 4 章 6 節から 8 節で示されたものと一致します。ヨハネは何を見せられ、エゼキエルは何を見せられているのか? イエス・キリストという人物の啓示です。そこに至る理由はこうです。この図は、以前にも紹介しましたが、民数記 2 章にあるイスラエルの宿営地の構成です。



ユダ(東) 186,400 民数記 2:1-9
エフライム(西) 108,100 民数記 2:18-24
ルベン(南) 151,450 民数記 2:10-17
ダン(北) 157,600 民数記 2:25-34

このような指摘をする理由は、なぜなら、中心にいるイエス・キリストの啓示として、十字架上の完成された御業の型として十字架の形をしているだけでなく、前述のこの 4 つの生き物の姿も描かれているからです。これをご覧ください。4 つの陣営にはそれぞれ旗がありました。これは、「民数記」に書かれている詳細です。彼らには旗がありました。エゼキエルの幻によく似た旗がありました。ある旗には、獅子

の顔が描かれていました。ある旗には牛、ある旗には人の顔があり、ある旗には鷲がありました。なんと
いう偶然なんでしょう。

自分の資料を見てみたら、こんな表がありました。20 数年前に作ったものです。実際に、いわば埃を吹
き飛ばして更新しました。4つの陣営、4つの生き物、4つの福音書の相関関係をお見せしたいと思いま
す。これらはすべてイエス・キリストという人物を現しています。結論はありますので、ついて来て下さ
い。4つの陣営とは、東にユダ、西にエフライム、南にルベン、北にダンでした。ユダの旗は獅子、エフ
ライムは牛、ルベンは人間、ダンは鷲でした。マタイの福音書では、ユダヤ人に対して、イエスはユダ族
の獅子であることを、イエスの発言から明らかにしました。マルコの福音書では、ローマ人に対して、イ
エスは仕える者であられることを、イエスのなされたことから明らかにされました。ルカの福音書は、ギ
リシャ人に対して、イエスが人の子であることを、イエスのご方法において明らかにされました。
ヨハネの福音書は、教会に対して、イエスが神の御子であられることを、どのようなお方であるかにおい
て明らかにされました。

部族	ユダ	エフライム	ルベン	ダン
宿営	東	西	南	北
顔	獅子	牛	人間	鷲
福音	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
対象	ユダヤ人	ローマ人	ギリシャ人	教会
明示	救い主 イエスはそう呼ばれた	しもべ イエスはそうなされた	人の子 イエスの御姿	神の御子 イエスはどのような方か

神の御言葉でこういう箇所があると、神にしかお出来になれないことだと確信できます。人間には到底
思いつかないことです。神の御言葉の無謬性を確信させるものは2つあり、そのうちの1つがこれです。
これです。そして2つ目は、神の御言葉の中に、ある箇所があり...神の御言葉は生きているからです。あ
なたが気づく時...「ほ〜！」地元の表現ですよ。ほ〜、神だけが私のことを知ることができるのです。
私のそんなことは、神以外誰も知るはずがありません。

ところで、あなたが御言葉を読んでいる時、御言葉があなたを読んでいます。私たちが聖句を探す時、聖
句が...これを言う時、唾を飛ばしまくっていますが、－（笑）－ 後で掃除をしないといけません。

私たちが聖句を探し求める時、聖句が私たちを探ります。私たちは御言葉の中に入り込みますが、御言葉
が私たちの中に入り込み、私たちを変えます。私たちを造り変えます。私たちを新しくします。神の御言
葉による思考の刷新です。洗脳ではありません。それは、御言葉の水で脳を洗うことです。これは神の御
言葉の中で、「どうするんだ」と、このようなものから立ち去る箇所の一つであり、「ああ、それはとても
面白い偶然ですね」と。本当ですか？ 偶然だと思うのですか？ イエスも仰いました。

「聖書全体がわたしを証しています。」(ヨハネ 5:39)

「すべてわたしについてです。」旧約聖書、創世記1章1節から、イエスのことです。出エジプト記でも。
創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記、ヨシヤ記、士師記、ルツ記、第一、第二サムエル
記、第一、第二歴代誌、第一、第二列王記、エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記、ヨブ記、詩編、箴言、
伝道者の書、雅歌、イザヤ書、エレミヤ書、哀歌、エゼキエル書。

イエスです。そのひとつひとつの書にイエスがおられます。それらはイエス・キリストという人物を証

し、指し示しています。ああ、なんと！

「ポイントは何ですか？ ポイントはありますか？」はい、あります。今、ここにエゼキエルがいます。彼はどんな心境でしょうか。ここからさらに良くなっていきます。なんとということでしょう。エルサレムの神殿で仕えることを心に決めていた青年がここにいます。捕虜としてバビロンに移されたことを実感します。しかも、実際にバビロンにいるわけでもありません。バビロンから南東に50マイルほど行ったところにいます。ダニエルはバビロンにいます。彼はこの、まあ、面白いことに、このテルアビブ/Tel Abib という場所にいます。テルアビブ/Tel-Avivとは混同しないように。テルアビブ/Tel Abib ケバル川のそばです。実際にバビロンに水を供給していたのは、この川でした。そして、浸水してしまいます。バビロンから50マイル離れた場所に、世界七不思議のひとつである空中庭園があり、その栄光は言葉にできないほど壮大でした。だからこそ、神はエゼキエルにご自身の栄光を示さなければなりません。でも、彼はこの場所において、ほとんど強制収容所みたいなものです。そこに神が彼を植えられたのですか？ どういうことですか？

「ああ、あなたは見るでしょう、エゼキエルよ。」「ええ、でも、、、」「いや、わたしが植えた場所であなただけを咲かせます。あなたには分からないでしょう。」

神は決して...もしあなたが今夜、私が言ったり唾を飛ばしたり叫んだりすることを何も聞かなかったとしても、どうかこれは聞いてください、なぜならこれは、あなたにとってぴったりの言葉かもしれません。神は、それが神のご栄光とあなたの益と、神がなさろうとしている壮大で輝かしいことのためでない限り、あなたをある場所に移し、そこに植えることは決してなさいません。実際に、その対比です。

ここに(大きな)バビロンがあり、ここに小さなエルサレムがあり、神殿があります。それに比べれば、外見上の華麗さと壮大さは、バビロンの壮大さとは比べものにならないでしょう。エゼキエルはまだ、あつたはずのことを考え続けているのだらうかと思います。エゼキエルは、いわば大きな絵が見えてきて、今、気づき始めているのでしょうか。

「ちょっと待てよ。ああ、私は自分のせいではなく、神がここに植えられた。私はエレミヤの預言的な言葉に耳を傾けていました。そして、なんと2度目の包囲で捕虜になり、今ここにいます。バビロンにすらいません。どういうことでしょうか？ 私はこの強制収容所のテルアビブで座っています。神さま、なぜですか？」

「お～、なぜかは分かるでしょう、エゼキエルよ。わたしがあなたをこのような場所に植えるとき、わたしはあなたを繁栄させ、豊かに、あなたが想像したことも、考えたことも、尋ねたこともないくらいに、あなたを祝福することを理解するでしょう。わたしが伝えようとしても、あなたは信じなかったでしょう。だから、自分がかわいそうだと思うのはわかります。自己憐憫に陥っていたのですね。誰も現れなかったのですが、あなたがそこにいました。」

「わざわざだ。私は人生の頂点、全盛期を迎えているのです。」ところで、9章くらいですが、エゼキエルは結婚したことを見ていきます。しかし、悲しいことに、彼の妻は、彼のミニストリーの初期に早すぎる死を迎えることとなります。この書で後から見ると良いでしょう。しかし、今ここに彼の人生があり、ここが神が彼を植えられた場所です。神は彼を植えられた場所で咲かせられます。彼は今、それがどれほど壮大で輝かしいものかを理解し始めたところです。もし、あなたが今夜ここにいて、あるいはオンラインで見ている、ただ理解できなくて、全く理に合わないと感じているのなら、いわば、あなたは人生上手くいっていたのです。あなたは、この深い特権と仕える名誉を得ました。神殿で仕えるのは、若者たちの夢で

した。そして今、そのすべてがなくなり、根こそぎに植え替えられました。確かに神には目的と計画があらわれます。エゼキエル、あなたはそれを信じたほうがいい。あなたにはわからないでしょう。神は、あなたの想像をはるかに超える何かの目的のためでない限り、あなたを動かし、あなたを植え替えることは決してなさいません。つまり、ありきたりな言葉ですが、「神は別の扉を開けずに扉を閉められることない」ということです。ただ、私は、そのようなことにあまり共感できません。というのも、扉が閉まっただけでなく、ボタンと閉められ、錠をかけられ、鍵はなく、まだ悩んでいるのですから。つまり、私はその扉を通りたかったということです。分かっています。

「まあ、神は別の扉を開いてくださいますよ。」知っています。分かっています。そんなこと分かっています！ それを説教しました。自分のネタを仕入れてください。 — 笑 — ここでエゼキエルは、扉が閉ざされます。彼は根本から覆され、神は彼を動かされました。彼の人生の新たな章の始まりです。エゼキエルの人生に後悔はなかったと、神の恵みと憐れみの権威をもって断言できます。神が植えられるとは 100 万年経っても考えられないような場所に移されたわけです。神があなたを咲かせられます。ただ待っていなさい。あなたは見るでしょう。

—エゼキエル 1:11—

これが彼らの顔であった。

(苦笑) それだけですか？ —そうです。言えなかったのでしょうか？ —ええ、たぶん。

—エゼキエル 1:11—

これが彼らの顔であった。彼らの翼は上方に広げられ、それぞれ、二つは互いに触れ合っていて、もう二つはそれぞれのからだをおおっていた。

—エゼキエル 1:12—

彼らはそれぞれ前を向いてまっすぐに進んだ。霊が進ませるところに彼らは進み、進むときには向きを変えなかった。

おお、ここに教訓がありますね。「霊が進ませるところに彼らは進み」？ ふむ...それは良いことです。この生き物は、どんな姿をしていたのか、何に似ているのかが描かれています。しかし、これは単なる何に似ているかではありません。これはその生き物がしたことです。それらはただ、霊が導くままに行動しました。霊が望まない場所には、絶対に行きません。ああ、私たちがそう言われることを神に願います。

—エゼキエル 1:13—

それらの生きものの姿は燃える炭火のようであり、たいまつのように見えた。火がそれらの生きものの間を行き来していた。火には輝きがあり、その火から稲妻が出ていた。

—エゼキエル 1:14—

それらの生きものは、閃光のように出たり入ったりしていた。

速いです。行ったり来たり。

—エゼキエル 1:15—

私がおの生きものを見ていると、輪が一つずつあった。

「エゼキエルの輪」と聞いたことがありますか？ これについては歌にもなっているんです。つまり、この生き物から輪へと向かいます。

...それら四つの顔の生きものそばには、地の上にそれぞれ輪が一つずつあった。

—エゼキエル 1:16—

それらの輪の形と作りは、輝く緑柱石のようで、四つともよく似ていた。それらの形と作りは、ちょうど、輪の中に輪があるようであった。

ああ、まだ輪に取り組んでいます。今度は、輪の中に輪があります。どういうことでしょうか？ まあ、これが役に立つかもしれません。私には役に立ちました。つまり、輪の描写は、これから見ていきますが、戦車、火の戦車を思い浮かべてください。戦車に乗っているのは誰でしょう？ 誰だと思えますか？ この輪は、誰も見たことのない輪のようです。

—エゼキエル 1:17—

それらは四方のどの方向にも進み、進むときには向きを変えなかった。

私は輪がそんなことをするのを見たことがありません。あなたの車のタイヤ（輪）がそうなったら、お店に持ち込むしかありません。言ってみただけです。

—エゼキエル 1:17—

それらは四方のどの方向にも進み、進むときには向きを変えなかった。

—エゼキエル 1:18—

その輪の周りの縁は…

ああ、これには縁があるんですね。豪華ですね。

…高さがあって… (ついて来て下さいね) …高さがあって”恐ろしく” (awesome)...

そこで止めます。私たちは、この「awesome/恐るべき/素晴らしい」という言葉を使いすぎているのではないのでしょうか。神だけにふさわしい言葉だと思います。それほど昔のことではありませんが、実際、私は 90 年代だったと記憶しています。初めて、誰かがこう言うのを聞きました。「おお、君は素晴らしい/awesome!」私は驚きました。それからよく聞くようになりました。こんにちも続いていますよね？

「おお、それって素晴らしい！」(That's awesome!) 本当にこんな感じで言うのです。「おお、すごいな！」

「君は素晴らしいよ！」まず、この「awesome」という言葉の意味を明確にしましょう。畏敬の念を抱くという意味です。Awesome. "Love/愛"という言葉をやたらと安っぽくしたように、私たちはそれを安っぽくしてしまったのだと思います。"Love/愛する"という言葉をやたらとすることは、"Like/好き"という言葉ほどパンチが効きません。例えば、私が「あなたを愛してる」と言います。「おお、ありがとう。私も愛しているよ。」もしその代わりに、「あなたが好きです」と言ったらどうでしょう？「私のことが好きなの？ まあ、私もあなたのことが好きみたい。」それがすべての様相を変えてしまいます。では、「神はあなたを愛しています」「神が私を愛していることは知ってるよ」でももし、その代わりに私が「神はあなたのことが好きです」と言ったら？「神は私のことが好きなの？ まさか！」そのまさかです！ 私たちは「愛」という言葉に何をしてしまったのでしょうか。それを放り投げて、安っぽくしてしまいました。冒涇しました。冒涇という意味が分かりますか？ それを貶めて、一般的にすることです。それを冒涇することです。私たちは「awesome」という言葉にも同じことをしてしまったと思います。だから、次に誰かが、「おお、お前、すごいな/awesome!」と言ったら、愛と好意をもって、こう言います。

「いいえ、そうではありません。私に畏敬の念を抱くというのですか？ おい、あなたには問題がありません。違います。神がすごいのです。」冒涇しないでください。「おお、それって素晴らしい！」何でもありません。いいえ、これが素晴らしいのです。誰かが車を止めると、新しいリム（縁）が付いています。

彼らのホイール（輪）を見せましょう。何のことだかわかりますよね？ こういうの見たことありますか？ もうあまり見かけなくなりましたね。でも、それは回転して...分かりませんが、もしかしたら、この箇所から来ているのかもしれませんが。輪の中に輪があって、回転し続けるのです。初めて信号待ちをした時のことは忘れられません。ここで、何だかよくわからないものが出てきました。黒い窓ガラスで。

♪ボンボン、チー、ボンボン、チー♪（ベース音）

（車高を）上げてます。彼らがそこにいると分かるんです。そして、どうやら彼らは、自分たちのホイール（輪）やリム（縁）について知ってほしいようです。信号で止まっているのに、これが回っているんです。私は幻覚を見ているのかと思いました。－（笑）－ 動くものを知っていますか？ 動いてるじゃないかと思ったら、違います、ホイールです。リムが、くるくる回るんですよ。もう少しで終わります。この胸の内を吐き出させてもらいます。あれがいくらするのか知っていますか？ 決して安くはないですよ？ それで、彼らはこのようなもので引き上げます。あなたは「わお！これはすごい！」と。どうやら、エゼキエル書1章を読んでいないようですね。いえ、それはすごくありません。これがすごいのです。良いですね？

それでは。もう一度、18節から始めなければなりません。完全に脱線してしまいましたから。

－エゼキエル 1:18－

その輪の周りの縁は高さがあって恐ろしく、四つの輪の周りの縁は一面、目で満ちていた。

－エゼキエル 1:19－

生きものが進むときには輪もそのそばを進み、生きものが地上から上がる時には輪も上がった。

ここでもう一度出てきます。

－エゼキエル 1:20－

これらは霊が進もうとするところに進み、輪もまたそれらとともに上がった。生きものの霊が輪の中にあつたからである。

わお、これがすごいのです。

－エゼキエル 1:21－

生きものが進むときには輪も進み、生きものが止まるときには輪も止まり、生きものが地上から上がる時には輪も上がった。生きものの霊が輪の中にあつたからである。

－エゼキエル 1:22－

生きものの頭上には、（またこの言葉が出てきます）まばゆい/awesome 水晶のような大空に似たものがあり、頭上高く広がっていた。

－エゼキエル 1:23－

その大空の下で、その翼が互いにまっすぐに伸び、それぞれ一対の翼が彼らをおおっていた。それぞれの一対の翼が彼らのからだをおおっていたのである。

－エゼキエル 1:24－

彼らが進むとき、私は彼らの翼の音を聞いた。…

恐ろしいことでしょう。

...それは大水のとどろきのよう、全能者の声のようであり、そのどよめきは陣営の騒音のようであった。彼らが止まるときに、その翼は垂れた。

わお…！

—エゼキエル 1:25—

彼らの頭上にある大空から声があった。彼らが止まったとき、その翼は垂れた。

—エゼキエル 1:26—

彼らの頭上、大空のはるか上の方には、サファイアのように見える”王座”に似たものがあり、その王座に似たもののはるか上には、人間の姿に似たものがあった。

あまり拡大解釈はしたくありませんが、私たちは神の似姿に造られ、人間は神の似姿に造られ、エゼキエルは神のご栄光の幻を与えられています。彼は私たちのために、神がどのような姿をしておられるのかではなく、というのも、彼は生きておらず何も言えなかったでしょうから、なぜなら、神を見て生きる者はいないからです。彼が見ているのは、ただ神のご栄光だけで、それがどんなものかを描写しているのです。

—エゼキエル 1:27—

私が見ると、その腰と見えるところから上の方は、その中と周りが琥珀のきらめきのように輝き、火のように見えた。腰と見えるところから下の方に、私は火のようなものを見た。その方の周りには輝きがあった。

想像できますか？ エゼキエルがこの幻の中で見ているものを、頭で考えてみることです。ただただ神のご栄光で、非常に輝いています。そして、色彩がとても鮮やかです。先ほど読んだ輪の説明、青色、描写です。これは私だけかもしれませんが、とにかく。ただ、なんとなくイメージするのは、輪がすごく速く動いているとき、これは特殊効果なんだと分かります。分かっています。でも、輪の色とか動きとか、明るさとか輝きなど。それが彼が説明しているものです。これまで読んできたものは、神の遍在、全能、全知における神のご栄光、主権、威厳、権威、謙遜、美しさを示す幻であることはお分かりでしょう。それは、まだ、、、いくつかの言葉を選んだのは、それがまた、とても詩的だからです。あなた独自のものを追加することもできるでしょう。私は全部 "E"で終わるようにしたかったです。グローリー（栄光）、サーバンティー（主権）どうやったか、わかりましたか？ 今夜は絶好調ですね。しかし、それは、言ってみれば、表面上のことでさえないのです。

遍在：同時にどこにでも存在すること。

全能：すべての力があること。

全知：すべてを知っていること。

すばらしい/Awesome! はい、これが最後だと思います。28節、最後の節、章の終わりです。

—エゼキエル 1:28—

その方の周りには輝きは、雨の日の雲の間にある虹のようであり、まさに主の栄光の姿のようであった。…

虹については、私たちはよく知っています。ところで、少し補足的に言わせてください。虹を冒涇するのはよく考えたほうがいいと思います。というのも、実は虹は、神がノアとの間に交わした「二度と洪水で地球を滅ぼさない」という契約、ノア契約のしるしだったからです。もう一度お許しください、私はなんだか考えていて、あなたは、神が地球を破壊する象徴である虹を使っています。ちなみに、彼らはそれを交えましたね。7色、虹の中の7という完全数を彼らは交えました。非常に興味深いです。皆さんが離れないことを願います。もうすぐで終わります。そこへ行かないでください。家に帰ったら、調べてくださ

い。彼らがそれをどうしたのか、とても興味深いです。曲解しました。あらゆる意味で、彼らはそれを曲解しました。ここで、虹の出現です。ちょっと前の話ですが、実は歓迎のために用意しているアロハのスライドは、こちらの運河の写真なんです。ある朝、シンシア・シューベルトがそれを撮影し、虹の写真を送ってくれました。これは素晴らしいです/awesome。虹は私たちの真上にありました。♪ア～ア～ア～ア～♪ それは鮮やかで、輝いていました。それは壮大で、見事で、そして、息をのむほどでした。でも、これに比べたら、何でもありません。ここに、この虹とその周りの様子と輝きがあります。

...まさに主の栄光の姿のようであった。私はこれを見て、ひれ伏した。そのとき、私は語る者の声を聞いた。

もう少し一緒に頑張りましょう。これで締めくくりますが、これは本当に力強いので、見逃してほしくありません。エゼキエルと彼のような多くの人々は、神のご栄光の前に立ったとき、一人残らずこのようなことをしました。彼らはただ、神の御前にひれ伏しました。言葉はありません。ただただ、神のご栄光に畏敬の念を抱いて。これがエゼキエルの反応です。ヨハネも黙示録で、同じことをしました。ヨハネはこの啓示を与えられ、神のご栄光は、彼が受けるこの啓示、幻の中で明らかにされます。彼はどうするのでしょうか？ ひれ伏すのです。待ってください。これは福音書によると、イエスと親密で、イエスの胸に横たわることもあったというヨハネと同じなのではないでしょうか？（ヨハネ 13:23）

そして今、主の胸に横たわるのではなく、ヨハネはひれ伏していると言うのですか？ その違いは何でしょう？ 神のご栄光です。これは、…もう一度ご辛抱ください。必ず抜け出しますから。少し時間がかかるかもしれませんが、締めくくります。

イエスのご栄光の中でイエスを目の当たりにしたとき、私たちは同じことをするだろうとは思いません。これは重要です。なぜなら、私たちはあまりにも、主のご栄光を軽んじているように思うからです。イエスが最初に来られたとき、そう、人として、苦難のしもべとして、救い主として来られました。しかし、主がそのご栄光のすべてを携えて来られるとき、 そのようには来られません。征服する王として来られます。主のご栄光の審判者として。そして、「イエスが来たら、私はイエスに質問するんだ」というのはやめてください。いいえ、しませんよ。自分自身のことを話しています。ちょっと厳しかったですね。これは私の責任です。すみません。私のせいです。私がそうします。

「私が天国に行ったら、いくつかイエスに尋ねるんだ。」いいえ、そんなことしません。まず、それは聖書的ですらありません。なぜなら、それは携挙であり、世が患難時代の間、7年間お祝いし、子羊との婚姻を完成させるのです。そしてその後、子羊の婚礼の祝宴です。待ちきれません。天には食べ物があります。それだけでも。私たちが主のそばで、主の花嫁として、主と共に来る再臨の後、私たちは千年王国に突入します。千年です。千年王国では、私たちは主の御座で、主のそばで、主の花嫁として、主とともに支配し、統治します。千年間ですよ！ そして地球は、罪がこの世に入り込む前ようになります。そのあたりを考えてみてください。

「おっと、待って。すまないJ.D.。いくつか質問があるのですね？」私は千年王国にいて、まだ天国にも、新しい天と地、永遠の未来にも行っていません。私はまだ千年王国にいて、こんな感じです。

「！！！」（口を開けて見渡す）「質問はありましたか？」「！！！」（口を開けて見渡す）

結論はあります、信じなくても、あります。私たちは主の御座の前で、礼拝するのです。

ところで、これらの生き物は、今夜は少しでもこれらのことを知ってもらえたら。というのも、御座の前に、生き物、これらはそこにいて、

「ふさわしい、子羊、ふさわしい、子羊」(黙示録 5:12)

そして、私たちは御座の前に立ち、生き物たちはそこにいて、私たちは冠を投げ出し、ただただ、主を礼拝し、賛美するのです。私たちにできることはそれだけだからです。「質問があると思ったのですが。」もうありません。まったく質問はありません。では、ポイントは何でしょう？ エゼキエルももう、疑問に思っていないのではないのでしょうか？ エゼキエルは、エルサレムからバビロンに移されたことについて、主に疑問を抱いていないと思います。彼の人生はこれからでした。そして、これには適用があります。最後にといいましたが、これが私の最後の締めくくりです。これが重要です。若者たち、私は愛と謙虚さをもって言います。主は私の心をご存じです。これからが人生の本番である若い世代の子どもたちと、こんな会話をしたことがあります。私には、エゼキエルがバビロンに捕らえられたときの年齢と同じぐらいの息子が2人います。彼らの人生はこれからです。彼らは結婚したいし、子どもを持ちたいです。キャリアを積みたいのです。これは良いことですが、彼らが孫を見せたいというのは、良いですね。孫を与えたいというのは、それは良いことだと思います。私も欲しいです。しかし、ここからが本題です。もし神がそれを妨げられたらどうでしょう、その代わりに、バビロンに連れて行かれるのではなく、携挙で御父の家に私たちのために用意されたその場所に連れて行かれるのだとしたら？ エゼキエルに話を戻しましょう。あなたは、「なぜ？」となりますか？

「なぜこれが？なぜ今？ 私には計画があったのに。訓練されていたんです。どういうことですか？もう、あのことはしないのですか？ もう全部無駄になってしまった。」

いいえ、違います。おお、ところで、それは無駄ではありません。そのことで悩んでいる若者に言いたいのは、気持ちは分かります。理解できます。大丈夫です。ただ、私が伝えたいのは、天国にも千年王国にも、イエスが私たちのために用意された御父の家にも、誰もこう言う人はいません。

「ああ...！はあ...！（ため息）」もしくは、「ほ～...（ため息）」「ああ、私には計画があったのに！」これについても一つ。エゼキエルを再び登場させましょう。彼の出番です。 どうにかしてここから抜け出します。エゼキエルが私を助けてくれるでしょう。あなたは、思い込みをしています。若者、25歳のエゼキエル、全てのエゼキエル、そこにいる全ての25歳の人たち。あなたは、神殿での祭司の奉仕が実現したとさえ思い込んでいます。ところでエゼキエル、これから分かると思いますが、神殿は破壊されます。まあ、そんな感じです。若者たち、あなたは結婚さえすると疑う余地なく思い込んでます。もし結婚したら、それが良い結婚になることを。そして、良い結婚であれば、子どもができて、孫を産んでくれることまで。私たち夫婦は10年間、子どもができませんでした。私たちは、いわゆる専門家から「原因不明の不妊症」と言われました。原因不明の不妊症が何か知っていますか？ 不妊症の原因がわからないのです。10年間。この話はしたことがありますから、踏み込みません。私は、もし神が私に息子を授けてくださるなら、自分の事業を売却して、一生涯、神に仕えると誓いました。神は息子を与えてくださいました。彼は今年、25歳です。私は事業を売却し、本土で最初の教会を立ち上げました。つまり、あなたは思い込んでいるということが、私がここで強調したいことです。良い方向に向かうと。あなたには分かりません。神はご存じです。神は始まりから終わりまでを知っておられます。将来をご存じです。神は神殿が破壊されることを知っておられます。これは、いわゆる不幸中の幸いと言えるでしょう。ほとんど控えめな表現です。

「わたしはあなたをそこから出させ、あなたをここに植えます。わたしはあなたを祝福し、ここで咲かせます。」「ええ、でも、私は訓練を受けて...」「エゼキエル、その訓練は役に立ちます。あなたはエルサレ

ムの神殿ではなく、私に仕えることになるからです。あなたはバビロンで、預言者として私に仕えることとなります。ここ（バビロン）での方が、もっとあなたが必要だからです。なぜなら、ユダヤ人はまだ欺かれていて、自分たちが戻れると信じているからです。彼らは戻れません。あなたが必要であり、あなたと共にダニエルが必要です。あなたはわたしに仕えることとなります。より崇高な使命です。エゼキエルよ、わたしは自分がしていることを分かっています。若者たちよ、わたしは自分がしていることを分かっています。あなたへのわたしの計画は、わたしはあなたを祝福し、わたしが植えた場所であなただけを咲かせ、あなたを繁栄させます。あなたに害は与えません。あなたに将来と希望を与えます。」

ああ、この書は、48章まであるんです。この書を終える前に、携挙が起こると思います。どうぞお立ちください。カポノ、上がって来て下さい。わお... 最後にもう一度：Awesome！/素晴らしい！

ああ、イエスさま、あなたは素晴らしいお方です。おお主よ、あなたのようなお方が誰かいるでしょうか？ すべての栄光は、あなたの聖なる御名に。すべての栄光は、あなたの聖なる御名に。ああ、主よ、あなたは私たちのすべての賛美にふさわしいお方です。ああ、主よ、あなたは私たちのすべての賛美にふさわしいお方です。すべての栄光に。

主よ、感謝します。エゼキエルを感謝します。何と素晴らしい若者でしょうか。この時、この場所で、あなたは彼をこのように力強く用いられました。

主よ、今夜、私たちがここから、この励ましを得ることができるよう祈ります。特に、落胆している人、もしかしたら混乱している人、困惑している人のために。主よ、この証しを、あなたの善意とあなたのご栄光を、本当に感謝します。私たちが準備不足にならないように、いつも私たちのために準備してくださっていることに感謝します。このようなことを明らかにしてくださると、私たちはそれに対処することができます。だから主よ、そのことを感謝し、これに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7